

フォトジャーナリスト 豊田直巳さんの 現場からのメッセージ

2018年7月9日(月)

映画「奪われた村：避難5年目の飯舘村民」

●上映会 12時30分～13時45分

●監督講演 14時～16時

会場 東京学芸大学講義棟 N403教室

(参加費無料)



◆ 豊田直巳さんの仕事展 (同時開催)

2018年7月2日(月)～16日(月) 10時～17時

※土日のぞく。16日(月・祝)は開催

豊田直巳さんの写真集、写真絵本、ブックレットなどを展示

会場 東京学芸大学環境教育研究センター ロビー



講師 豊田直巳さんプロフィール

フォトジャーナリスト、ドキュメンタリー映像監督・制作 日本ビジュアル・ジャーナリスト協会 (JVJA) 会員。
1983年より中東の取材を始め、その後カンボジア、アチェ、旧ユーゴ、コソボなどの紛争地を取材。週刊誌、新聞、テレビで発表。2011年3月11日以降は、主に原発事故被害の取材を続けている。
原発事故関連 写真集・著書：『「牛が消えた村」で種をまく』(農文協 2018年) 『Fukushima - l'Anno Zero』(Jaca Book, Milano) 『福島を生きる人びと』(岩波書店) 『フクシマ元年』(毎日新聞社) 『福島 原発震災のまち』(岩波書店) など多数。映画：『奪われた村～避難5年目の飯舘村民』監督 『遺言～原発さえなければ』共同監督。海外写真展：ベネズエラ国立美術館展 国連本部展 (日本ユニセフ協会主催) など多数。
イラク戦争関連 写真集・著書：『戦争を止めたい フォトジャーナリストの見る世界』(岩波書店) 『世界の戦場から イラク 爆撃と占領の日々』(岩波書店) 『「イラク戦争」の30日』(七つ森書館) など多数。写真展：EU議会議事堂展(ブリュッセル)、スコットランド議事堂展、ベルギー国会議事堂展 など多数